

妙高高原南

平成24年3月15日

本年度の学校評価

先日、学校関係者評価委員会（委員：学校評議員・後援会正副会長・民生児童委員・P執行部）を開き、本年度の学校教育の概要及び学校評価結果をご報告し、ご質問、ご意見をいただきました。以下、評価委員会で報告した本年度の学校評価結果と次年度の方向についてまとめました。ご覧になって、お気付きの点やご意見がありましたらご遠慮なく学校までお知らせください。

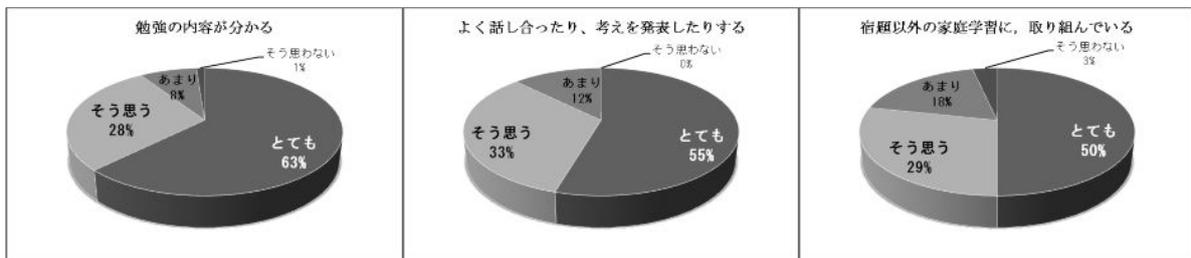
重点目標－1「進んで自主学習に取り組む子」



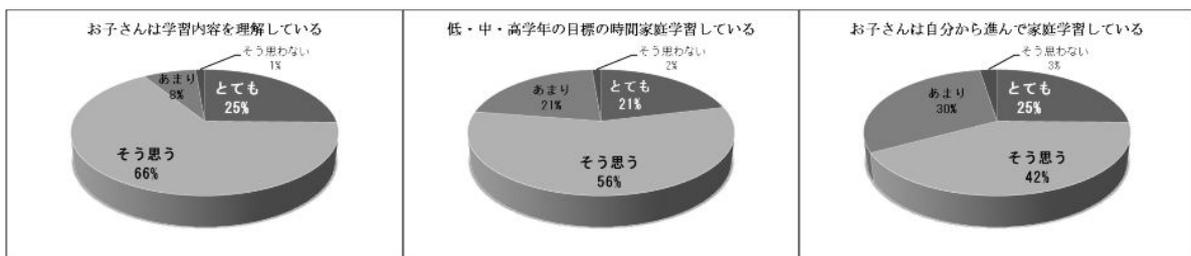
- 算数の学力が向上してきています
- 宿題以外の自主学習に取り組む子が増えました
- 低学年を中心に「学びの広場」に参加する子が多いです

- ①全国標準診断学力検査（NRT）の算数の偏差値が55以上→55.1 評価A
※全学年、全教科（1～2年国・算2教科，3～6年国・算・社・理4教科）偏差値50以上を達成
- ②学習がよく分かるという児童85%以上→90.9% 評価A
- ③授業でよく話し合ったり、発表したりするという児童80%以上→87.5% 評価A
- ④Web配信※8.0点以上→8.34点 評価A
※県が授業改善のために毎月インターネット上で配信する学習診断問題 3年生以上国語と算数，各10点満点
- ⑤宿題以外の家庭学習に進んで取り組む児童80%以上→教員評価70% 評価B
→家庭学習，中学年45分・高学年60分の達成率→82.8%（家庭学習カード集計結果より）

児童アンケート



保護者アンケート



■家庭学習と結びつけた授業改善に取り組んだことで、学習で身に付けさせたい力がより明確になり、学力向上に結びついています。

■家庭を巻き込んだ学習課題を出したり、「学びの広場」カレンダーや学習カードのコメント等をお願いしたりして保護者に協力を求めたことで、家庭学習への関心が高まっています。

■学びの広場実施回数、昼休み121回、放課後94回、延べ利用者数1,875人(2月末) 昨年度より337人増加しました。

■今後、学ぶ楽しさ、分かる・できる楽しさを実感させる授業改善にさらに取り組むと共に、「学びの広場」と県のWeb配信問題を結びつけた個別指導の充実に取り組みます。

重点目標-2「おおらかな心や思いやりの心を持ち、公平・公正・正義を貫こうとする子」

○学校行事に進んで参加し、お互いのよさを認め合っています

○学級や縦割り班では自分の役割を果たそうと、一生懸命行動しています

△行事等で身に付けたよい行いが、日常生活に生かされないことがあります

①日常生活の中で道徳的实践力が育っている学校評価80%以上→72.5% 評価B

○友達対して、悪いことは悪いとしっかり言えるようになってきた。

○トラブルが起きたときに、子ども同士で話を聞き合い、解決することが増えた。

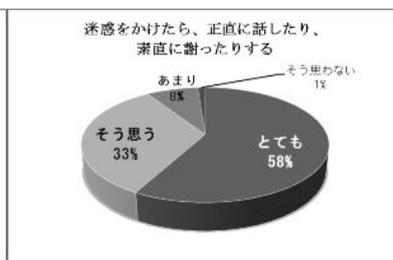
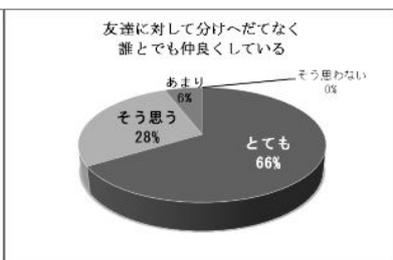
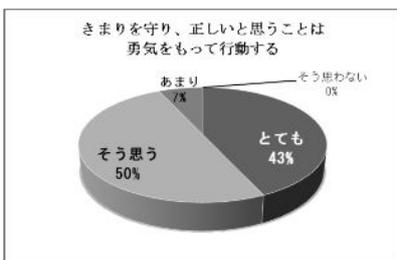
▲友達への注意の仕方がきつかったり、周りのことを考えない言動が見られたりした。

②交流場面で公正・公平・正義が高まったと感じる学校評価平80%以上→72.5% 評価B

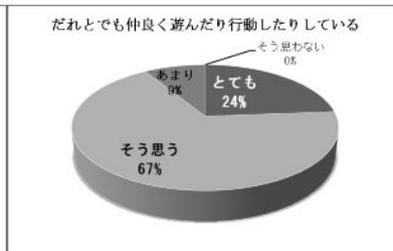
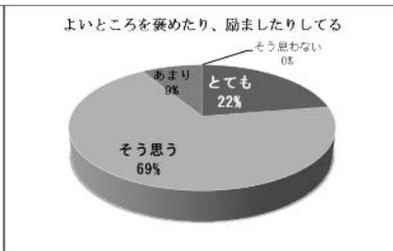
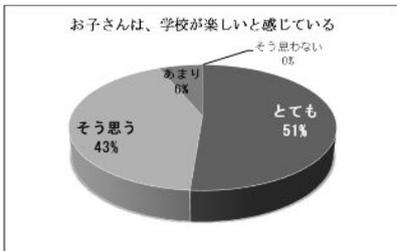
○ひまわりフェスティバルでは、みんなから楽しんでもらうことを考えて行動したり、地域の方やお世話になっている方に積極的に声をかけたりする姿が見られた。

▲接する人によって態度が変わったり、友達に対する見方が偏ったりすることがある。

児童アンケート



保護者アンケート



■育てたい「心・態度」を明確にし、全校で道徳集会を開き、その後、全学級で授業を行い、道徳的实践力につながるよう取り組みました。

■児童一人一人の成長を、公正・公平・正義に

ついでに4つの観点から見取り、取組の改善に生かしてきました。

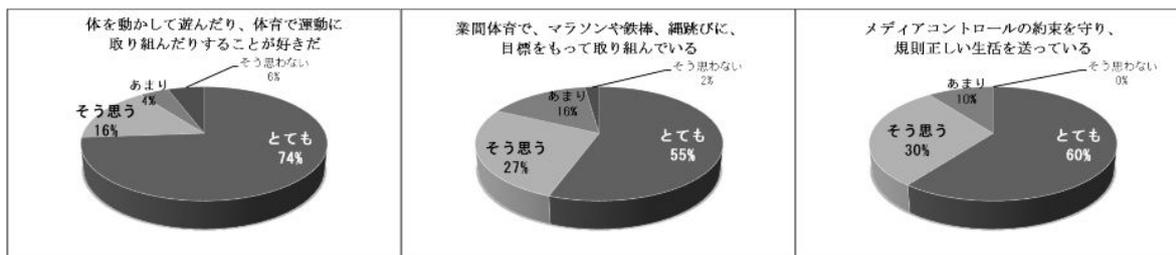
■次年度は、道徳授業や行事等で身に付けたことが日常生活に生かされるよう取り組みます。

重点目標－3 「毎日進んで汗をかくまで遊んだり、運動したるする子」

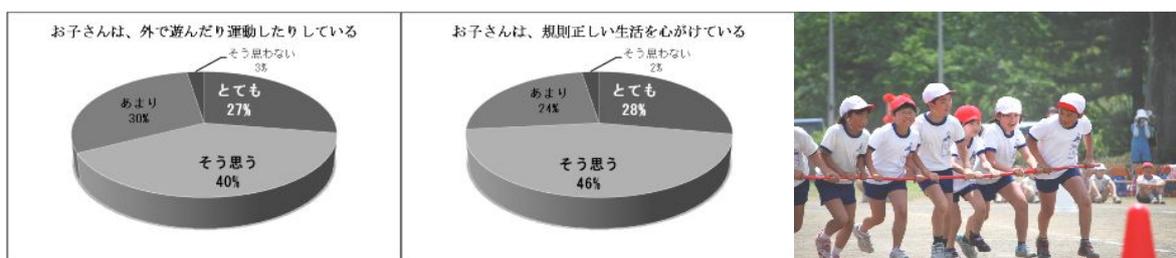
- 体力，運動能力の高い子が育っています
- 体を動かす遊びが好きで，目標をもって運動する子が多いです
- メディアの約束を守る子が増えています

- ① 体力テストの結果全学年の70%以上がB判定を超える→78.4% 評価A
A判定（トキめき体力づくり認定証受賞者）43人（48.9%）
- ② 運動に関して肯定的評価をする児童80%以上 評価A
 - ・体を動かして遊んだり，いろいろな運動をしたりするのが好きだ→89.8%
 - ・業間運動で，マラソンやなわとびに目標をもって取り組んでいる→82.3%
 - ・体育の授業で練習方法を工夫し，できることが増えた →85.2%
- ③ メディアの約束（平日2時間・休日3時間以内）を守る児童70%以上 評価A
 - ・第3回メディアコントロール週間の結果→毎日達成87% 5日以上達成95%

児童アンケート



保護者アンケート

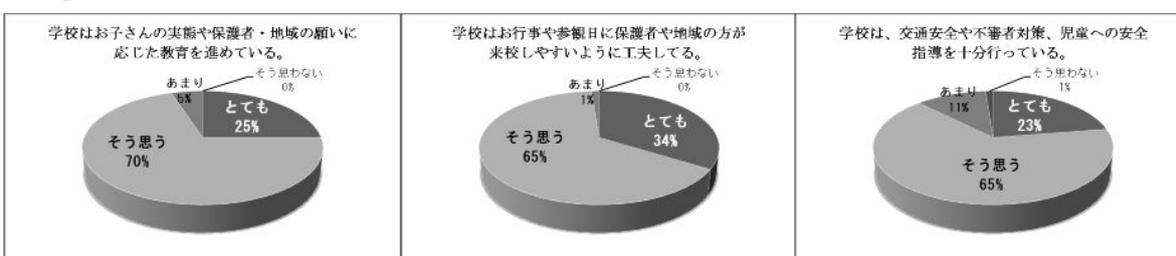


■合同体育を行うことで、安全できめ細やかな指導ができました。また、お互いにより刺激となり、意識を高くもつことにつながりました。

■保健学習では、担任と養護教諭が連携しながらメディアコントロールを指導しました。

■体力テストでは、ほぼ全ての項目で、県平均を上回っていますが、学校としては低下傾向にある学年や項目もあるので、体力テストの結果分析を次年度の授業改善に生かしていきます。

学校運営に関する保護者アンケート



地域と共に歩む学校づくり

① 保護者・地域との連携

- ・学校ボランティアコーディネーターを活用して、読み聞かせボランティア・水泳指導ボランティア・金管クラブ指導ボランティア・スキー指導ボランティア・学習指導ボランティア等を積極的に活用しました。(外部ボランティア延べ人数 109人)
- ・あいさつ運動の参加保護者数(5月延べ200人・9月延べ194人)保護者や児童民生員等、地域の参加率が高く、子どもたちの挨拶が良いという声をたくさんいただいています。
- ・生活科や総合的な学習、課外活動等でお世話になった方を招待して「ひまわりフェスティバル」を実施しました。
- ・7月と11月に名香山苑を訪問し、交流活動を行いました。



② 中学校区 こども園・小中学校の連携

<家庭学習習慣の形成に向けて>

- ・各園・小中学校で、共同授業参観を行いました。小学校、中学校の1回目、2回目は、全員参加、3回目の園の共同参観には小・中から6名の参加でした。
- ・小・中で第3回メディアコントロール強調週間に合わせて家庭学習強調週間を実施しました。



<社会性の育成(人間関係づくり)に向けて>

- ・小学校5・6年生と中学校1年生が交流する「絆」づくり集会を10月に実施しました。本年度は、活動が中心で良かったという声が多かったです。また、活動後の作文の交換は、絆づくりや進級・進学に向けての自覚を高める良い刺激となりました。
- ・園と小学校の交流会を年3回実施しました。小学校では、交流を通して学年に応じた成長が認められました。また、園児は、交流会に期待をもって参加し、一人一人の就学の喜びにつながっています。



<メディアコントロールについて>

- ・メディアコントロール強調週間を中学校区で、実施時期をそろえ年3回実施しました。回を重ねるごとに成果が上がりました。
- ・地区子ども健康づくり協議会の事業として、睡眠の大切さについて中学生から教えてもらったことを健康委員会の児童が全校にPRしました。



<その他の取組>

- ・中学校区の栄養士を活用した食育指導を充実させるため、全学年で授業を行いました。
- ・小学校外国語活動カリキュラム作成に関して、市作成のブリッジカリキュラムを小学校で2/3実施し、残りの1/3を中学校で実施する予定です。
- ・高原北小学校とマラソン大会を共同開催しました。1学期から目標をもって体力づくりに取り組むことができました。また、職員、保護者共に役員の確保ができ、運営がスムーズで、大会が盛り上がりました。

